

実際の授業から流れを読み取ろう!

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。今年こそは厄災に見舞われない、いい年になりますように！この一年もがんばりましょう。

この通信では、引き続き授業づくりの基本を伝えていきたいと思ひます。若い先生には、1 つでもこだわって実践してもらえればと思ひますので、しっかりと読み解いてもらえたらと思ひます。前回まで、1 時間の授業の流れ（タイムマネジメントを含む）を示してきました。簡単に言えば「導入→展開→まとめ」がしっかりと構成されているかを伝えてきたつもりです。今回は、実際に行った授業をこの構成で作られているかどうかを検証していきたいと思ひます。実際に紹介する授業は、和歌山大学特任教授 藤本禎男先生が初任者及び大学院生を対象にした師範授業を紹介したいと思ひます。初任者と大学院生を児童に見立てて行った授業ですが、授業プランからみてもしっかりと授業構成を意識された授業であったので、すごくわかりやすい構成かと思ひ紹介することにしました。単元は、小学校 4 年生の算数「折れ線グラフ」になります。

【単元計画】

単元名：「3 折れ線グラフ」	全 7 時間	(本時 7 / 7)
1 次 「変わり方を表すグラフ」	… 3 時間	
2 次 「折れ線グラフの書き方」	… 2 時間	
3 次 まとめ・発展	… 2 時間	(本時 2 / 2)

【本時の目標】

箱根駅伝 3 大学の順位変動表を折れ線グラフに表すことにより、新たな気付きを持ち、そのことを説明することができる。【関・思】

【本時の展開】

導 入

まずは興味付けにビデオを使い、短時間で課題に結びつけていくことがポイント

今からビデオを見てもらいます。何のビデオかあててください。

《箱根駅伝の様子ビデオを流す》

C：お正月にやっている駅伝

C：箱根駅伝

その通りです。

これは、今年行われた第 9 5 回箱根駅伝の東京大手町をスタートする 20 大学の様子を映したビデオです。

箱根駅伝は、ここ東京から箱根までの往路 5 区間と、復路は箱根 6 区から東京 10 区までの、計 10 区間 10 名の選手が競争します。